

会 議 要 旨

会 議 名 (審 議 会 等)	令和5年度 第6回南あわじ市文化財保護審議会	
事 務 局 (担 当 課)	南あわじ市教育委員会 社会教育課	
開 催 日 時	令和5年10月4日(水) 14時00分～16時00分	
開 催 場 所	護国寺	
出席者	委 員	堀部るみ子、竹田俊道、正井良徳、小野昌一、岡崎正信、前田拓也、 関口功、木田徹、吉田文洋
	事 務 局	山家光泰(社会教育課長) 眞野匡史(社会教育課副課長) 竹内まりの(社会教育課主事)
	そ の 他	三富良圓(護国寺住職) ※議事(2)の解説のみ
会 議 次 第	1, あいさつ 2, 議 事 (1) 護国寺文書について (2) 伽藍図について (3) 市ホームページへの議事要旨の掲載について 3, その他 4, 閉 会	
議 事 要 旨	別紙のとおり	

第6回南あわじ市文化財保護審議会 議事要旨

○ 議 事

(1) 護国寺文書について

- ・「淡路国司庁宣」は60点の内もっとも古い文書で、鎌倉幕府が出来て間もない時期に国司が地方に送った命令書が現存しているところや、淡路人形浄瑠璃の発祥に関連する歴史を裏付ける資料となる点において貴重である。
- ・護国寺文書について、答申書案を作成した。書面の構成、名称の「護国寺中世文書群」、文章中の文字の新・旧字のどちらを採用するか等については今後の審議会の中で引き続き検討をしていく。

(2) 伽藍図について

- ・描かれた時期ははっきりとは分からないが、伽藍の様子からおそらく室町時代の頃ではないかと考えられる。図は江戸時代の初期に表装し直した、という風に聞いており、近年も表装をし直している。
- ・現在も残る鳥居やお堂などが描かれている。
- ・古文書の文章中にもよく伽藍が登場するので、古文書と共に大切な資料になると考える。
- ・レプリカの伽藍図については寺を訪れた方向けに公開しているので、ぜひ見ていただければと思う。

(3) 市ホームページへの議事要旨の掲載について

- ・令和5年度に開催した第5回までの議事要旨を市のホームページ上で公開している。